

サトイモ ‘媛かぐや’ は栽培法を使い分けて！

農林水産研究所

‘媛かぐや’ は一般的なサトイモ（伊予美人）に比べて形状や品質等すべての特性が異なり、**オリジナル食材として注目され続けている県育成のサトイモ親芋用品種**です。

しかし、通常の栽培方法では芋が大きくなりすぎることから、**青果販売用サイズ（400～600g）をセル苗を利用して安定生産する栽培法**を開発しました。

媛かぐや



	媛かぐや	伊予美人
食用部位	親芋	子芋、孫芋
収穫時期	11～12月	9～4月
芋形状	砲弾型	丸型
肉質	粉質（甘味）	粘質
肉色	灰色	白色
葉柄	食用可	食用不可
お奨め調理法	炊合せ 揚げ物	おでん スイーツ
		芋炊き グラタン 煮っころがし
推進方向	期間限定特産品 加工	産地戦略品目

青果販売用 [セル苗栽培法]

月 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1

セル苗

定植 ▲

灌水

収穫

管
理



貯蔵中に萌芽した芋を切り揃えて、50穴セルトレイに移植



1カ月間育苗して、6～7月に定植
・4,500株/10a(2条千鳥)
・植付け深1cm



芋をねじりながら引き抜いて収穫
マルチ下の子芋が翌年の種芋となる